

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
上尾市	上尾市	平成 28～令和元年度	平成 28～令和元年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27 年度)	目 標 (令和元年度) A	実 績 (令和元年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口	175,834	189,493	97 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	77.1%	84.9%	37.2 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	17,682	15,444	106 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.8%	6.9%	78 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	34,396	18,234	29,474 162 %

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

公共下水道については、総人口の実績が目標を上回ったことも影響して、目標を達成しなかった。
合併浄化槽等については、平成 29 年度以降は市の補助金額を大幅に引き上げたうえに、平成 30 年度からは、広報を充実させて、転換の PR を進めてきたため、転換基数も伸びた。しかし、平成 28 年度までの基数が計画を下回っていたため、計画期間全体を通してみると、目標を達成できなかった。
未処理人口については、職員の人員不足から浄化槽管理台帳の精査が行えておらず、目標を達成できなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 7 年度まで
公共下水道については、下水道接続の啓発活動を実施し、水洗化人口を増やしていく。
合併浄化槽への転換を確実に増加させるため、ホームページや広報誌に積極的に合併浄化槽への転換について掲載するとともに、汲み取り便槽や単独処理浄化槽の使用世帯に対し、個別に文書の送付を行い、より一層の転換を進めていく。
未処理人口については、未接続人口を確実に減少させるため、浄化槽管理台帳の精査を行い、正確なデータ把握に努める。

(都道府県知事の所見)

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、上記方策により一層の転換を促す必要がある。
浄化槽管理台帳の精査により正確なデータを把握した上で、引き続き合併処理浄化槽への転換を推進していただくようお願いしたい。